

令和7年度（2025年度）  
京都市立芸術大学大学院音楽研究科（修士課程）入学試験問題  
音楽学専攻 語学（英語）

I 次の英文の下線部 (1)、(2)、(3) を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：Cone, Edward T (1968). *Musical Form and Musical Performance* (pp. 32-33). New York and London: W. W. Norton & Company. （一部改変）

II 以下の英文は、音楽演奏に含まれるランダムなゆらぎ (Random variation) について述べたものです。この英文を読んだ上で、(1) ~ (3) の各問に日本語で答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：Woody, Robert H (2022). *Psychology for Musicians: Understanding and Acquiring the Skills* (2<sup>nd</sup> ed.)(pp. 118–119). New York: Oxford University Press. (一部改変)

- (1) 第一パラグラフの内容を 80 字程度で要約しなさい。
- (2) 下線部 (A) はどのような現象を指しているか、本文の内容に照らして具体的に説明しなさい。
- (3) 著者は、なぜ下線部 (A) のような現象が生じると考えているのか、簡潔に説明しなさい。

令和7年度（2025年度）  
京都市立芸術大学大学院音楽研究科（修士課程）入学試験問題  
音楽学専攻 語学（フランス語）

I 次の文章の下線部を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：« Samson François, le pianiste épris de liberté »

Par Clémence Guinard

<https://www.radiofrance.fr/francemusique/video-samson-francois-le-pianiste-epris-de-liberte-5746263>

II 次の文章の（ 1 ）～（ 5 ）に入れるのもっとも適切なものを、語群の動詞から選んで必要な形にして解答欄に書きなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

appeler	connaître	être	faire
recenser	ressembler	savoir	voir

出典：「leJDE.be」, le 21 août 2024

<https://www.lejde.be/monde/2024/08/21/la-variole-du-singe-cest-quoi-et-pourquoi-en-parle-t-on-beaucoup-pour-linstant-36649/>

III 次の日本語をフランス語に訳しなさい。

- (1) 彼は友人の妹と結婚した。
- (2) 駅まで迎えに行くよ。
- (3) 雪が降ったら出かけられないね。
- (4) コーヒーを飲み終わったら彼女に電話するよ。
- (5) 何か落としましたよ。